



後列右から八巻副会長、菊地会長、堀切理事長、齋藤施設長

おいしいお米を味わって 「匠の会」が国見の里に特栽培米を贈呈

町の特別栽培米生産者グループ「匠の会」の菊地安司会長と八巻喜治郎副会長は12月13日、特別養護老人ホーム国見の里を訪れ、町産の特別栽培米コシヒカリ 30kg を贈呈しました。贈呈式では、八巻副会長が「地域のために尽力されてきた方々に感謝を込めて贈ります」とあいさつ。施設を運営する厚慈会の堀切伸一理事長が謝意を述べ、同会に感謝状が贈られました。



あんぼ柿をPRする太田町長ら

国見のおいしいあんぼ柿をお届け 東京日本橋ふくしま館でトップセールス

町産あんぼ柿のトップセールスが12月15日、東京の日本橋ふくしま館ミデッテで行われました。トップセールスには太田久雄町長はじめ、生産者、ミスピーチ、くにみもたんが参加し、あんぼ柿をPR販売しました。まるで上生菓子のような美しいオレンジ色ととろけるような食感は大好評で、あんぼ柿を買い求める多くの来場者で賑わいました。



国見の魅力を“伝える”を考える

“くにみ流の観光づくり” くにみ案内人養成講座が開講

町の魅力を案内するガイドを養成するための講座が12月17日に開催され、町内外から29人が参加しました。1回目となる今回は「くにみを知る」をテーマに、町内を巡って町の「たからもの」を再確認した後、グループごとに伝えたい町の魅力や発信方法についてワークショップを行いました。参加者は多くの意見に触れ、新たな気付きを得ていました。



太田町長から有功章を伝達された佐久間さん（右）

70回の献血に協力 日本赤十字社銀色有功章表彰

献血70回を達成し、日本赤十字社銀色有功章を受章した佐久間ツヤ子さんへの有功章伝達式が12月21日、国見町役場で行われ、太田久雄町長から表彰状と記念品が手渡されました。表彰を受けた佐久間さんは、「献血は自分にもできる社会貢献。自分の健康状態を知るきっかけにもなるので、これからもできる限り続けていきたいです」と今後の目標を語りました。



みんなでピカピカにしよう！

1年間の感謝を込めて ミニバスケットボールスポ少が大掃除

国見ミニバスケットボールスポーツ少年団は12月23日、団員29人と保護者が協力して上野台体育館の清掃を行いました。清掃は、1年間練習でお世話になった体育館に感謝を込めて毎年行っているもので、6年生が中心となり体育館の雑巾がけやトイレ、ロッカー室などを隅々まで清掃しました。きれいになった体育館で、新年から気持ちを新たに練習に励みます。



小坂産の“十割そば”を楽しむ来場者

おいしいそばに舌鼓 第12回小坂そばまつり

小坂まちづくりの会（小坂和也会長）主催による第12回小坂そばまつりが11月26日、小坂農村総合管理センターで開催されました。会場では、打ち立てのそば350食が振る舞われ、来場者は小坂産の風味豊かな新そばに舌鼓を打ちました。そばまつりの収益は、小坂地区の美化活動資金として活用されます。



全国大会に出場する鈴木さん（右）

バスケットボールで全国大会出場 国見町青少年育成町民会議奨励金交付

国見町青少年育成町民会議（太田久雄会長）の奨励金交付式が11月27日、観月台文化センターで行われました。交付式では、東京体育館で開催される第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会に出場する鈴木耀里さん（高3）に岡崎忠昭教育長から奨励金が手渡され、鈴木さんは全国の舞台での活躍を誓いました。



“いつも笑顔で”と題して講演する萩原さん（右）

女性が輝く町へ くにみ女子カフェを開催

女性活躍推進フォーラム「くにみ女子カフェ」が12月2日、観月台文化センターで開催され、約100人が参加しました。会場では、シドニー五輪競泳日本代表の萩原智子さん講演を行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、町内で活躍する女性らをパネリストに迎えてパネルディスカッションが展開され、「女性が輝く町」の実現に向け意見が交わされました。



指導を受けながらしめ縄づくりに励む福大生

福大生がしめ縄作りに挑戦 内谷地区集落活性化事業

町と域学連携協定を結ぶ福島大学行政政策学類の岩崎由美子ゼミの学生22人は12月10日、鳥取内谷防災センターで正月用のしめ縄づくりに挑戦しました。しめ縄には学生が苗植えして収穫したわらを使用。学生は内谷地区のみなさんの指導のもと、苦戦しながらもしめ縄を完成させました。完成したしめ縄は同地区の神社などに飾られます。



意見書を手渡す佐藤委員長（中央）と中村副委員長（右）

太田町長に意見書を提出 国見町パークゴルフ場建設検討委員会

国見町パークゴルフ場建設検討委員会（佐藤辰雄委員長）は12月12日、これまで3回にわたり検討を重ねてきた結果を取りまとめた意見書を太田久雄町長に提出しました。意見書では、町有地を建設候補地として提案し、経費節減に配慮した施設運営体制の整備を提言。中村洋平副委員長は「地域の活性化と健康促進につながれば」と期待を寄せました。